

# 「The Magic of Children」

(国際ロータリー第2690地区)

## 倉吉東ロータリークラブ週報

KURAYOSHI-EAST ROTARY CLUB WEEKLY

会長 藤井 武親  
副会長 酒井 義人  
幹事 向井 康英



例会場 倉吉シティホテル2F TEL:0858-26-6111

<http://www.east-rotary.jp>

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

E-mail: [kurayoshi@east-rotary.jp](mailto:kurayoshi@east-rotary.jp)

事務所 〒682-0023 倉吉市山根543-7 倉吉シティホテル3F

TEL: 0858-24-6300 FAX: 0858-24-6301

令和7年3月6日 (木) 第2635回 例会報告 No.2500

ソング 国歌・奉仕の理想

食事 百万ドルの食事

会長時間

がん対策基本法からの話

日本は法律が制定されると、整備がきちっとされていく傾向があります。がんについては2006年に制定され、それが予防から医療。そしてがんで治療しながら共生する。たとえば仕事出来るということまで作られています。

認知症についても同じ事が言えます。2023年に共生社会の実現を推進するための認知症基本法が成立しました。この基本法の目的は、認知症の人が尊厳を保持しつつ、希望を持って暮らすことができる社会を実現することです。認知症で大事なのは予防と早期発見とそして丁寧な認知症のケアです。

昨日グループホーム協会の総会がありました。浦上教授の講演があり、最近認知症が減少しているという発表がありました。その代わりに軽度認知症MCIが増えているということでありました。それは生活習慣病がよくコントロールされてきたので、認知症になることが減ってきているということです。生活習慣病いわゆる高血圧、高脂血症、糖尿病といったものの減少コントロールを良くすることで、認知症の進行が抑えられるということが言えるのです。そして社会全体で認知症というのは特別なものではなく、歳をとったらみんなそうなるっていくのだという、ごく普通の病気であるという認識を持つことによって認知症になっても社会に受け入れられる。そういうことでさらに、認知症は問題になる疾患ではなくなると思います。

高齢者について紀元前50年位のキケロの時代、彼が老人について言っていることで、すごく当たり前のことが言われていたので合わせて述べておきます。

まず第1に、歳をとるといろいろな知識が豊富になり、物事について良識的な判断ができるようになって、老人の知恵というものを発揮することができると思います。第2に、精神的に安定するので、穏やかな人として尊敬されます。第3に、社会の中に出て交流することで、年寄りの生活は精神的にも安定したものとなります。歳をとってくると、最後に死というもの訪れるのですが、それはごく自然に迎えることができます。

現代においても全く異論のない老人観であります。人間は昔から今日まで成長することも衰えることもなく、本質的には同じだということが言えるのではないのでしょうか。

幹事報告

○ロータリーの友 3月号配布

○ロータリーレート2025年3月=1ドル150円

○財団室NEWS 3月号

○バギオだより 3月号

○ガバナー月信 第9号

○来週の例会では、外部講師として、占い師:アマリア 令様をお招きして「2025年の運氣について」というテーマでお話ししていただきます。

○来週の例会終了後、定例理事会を開催します。

委員会報告

○前畑俊幸雑誌委員長より

雑誌「ロータリーの友」3月号の紹介

○出席報告

会員数 50名

出席会員 32名

欠席会員 16名

免除会員 2名

本日出席率

66.67%

○スマイル報告

・足立智子会員・佐藤義和会員・伊藤等会員:本日卓話をいたします。

・中野雅斗会員:少しだけSAA職務に慣れてきました。引き続き緊張感をもって頑張ります。

・村中耕作会員:子供の高校卒業と大学進学が決まりました。

・大江稚乃会員:3月になりました。梅の花も良い香りです。

・伊藤等会員:皆さん一緒に甲子園へ行きましょう!!

・早退2件、欠席3件

卓話



足立智子会員



佐藤義和会員



伊藤等会員

閉会

2024-25年度国際ロータリーのテーマ  
RI会長 ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジック  
The Magic of Rotary

